

「ゴデー」 「ハイ」
Goddag! Hej!
 (くだけた言い方)

デンマーク語専攻

🌐 デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。

学生の声

3年 勝矢 博子

デンマーク語専攻は、国立大学で唯一デンマークについて専攻できる場所です。ここではデンマークという、小国ながら大きな存在感を持つ北欧の国を身近に感じながら、デンマーク語を習得することができます。そしてデンマーク語をツールに、各々の興味のある分野の勉強に取り組むことができます。

そんなデンマーク語専攻について一番気に入っているのは、クラスの雰囲気の良さです。20人ほどで授業を受けるため、自然とみんな仲が良くなります。先生との距離も近く、アットホームな雰囲気、質問もしやすいです。

この専攻を選んだ理由は人により様々です。世界一幸せな国だと聞いたから、北欧のデザインが好きだから、偏差値がちょうどよかったから…。でも、入ってしまえばみんな等しくなかなかのデンマークファンになっています。それだけ魅力にあふれる国なのです。

そんなデンマークをこの目で見ていこう、と留学に行くクラスメイトも多くいます。政府奨学金、交換留学、フォルケホイスコーレなど、長期・短期にかかわらず様々な形の留学の

選択肢があるのも、この専攻語の特色の一つです。先生方、先輩方も留学について応援してください。

少しでも興味を持たれた方は、理由にあまりこだわらず、ぜひデンマーク語専攻に来てみてください。楽しく有意義な学生生活を過ごせると、自信をもっておすすめします。



森の中での自然保育



デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は最初、1966年4月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985年4月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク・スウェーデン語学科となりました。そして、2007年10月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2年次までは専攻とする一方の言語を集中的に学習します。「読み、書き、話す」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行ないます。また、初年次には北欧事情の講義が、2年次には両国の文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3年次になると、自分の関心に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか1つの特別演習(ゼミ)を選択し4年次の卒論執筆に向けて準備が始まります。授業を担当するのは、それぞれの分野を専門とする両専攻の教員です。ちなみに、3・4年次ではもう一方の言語やノルウェー語、古アイスランド語も学習することができます。

デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェロー語とともに北ゲルマン語を構成しています(北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にあります。北歐地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です)。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北歐では約2千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の3言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの1言語を会得すれば、他の2言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる26のアルファベットの他に、å (3言語共通)、æ、ø (デ、ノ)、ä、ö (ス)があります。北欧の言語を理解できる人は日本にはそう多くいません。みなさんにはパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることで、世界を複眼的に展望し、文化はもちろん、国際情勢をもグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしい

留学体験記

4年 杉山 耕平

『デンマーク発祥のハンドボールを現地でプレーしてみたい!』と、私は3年次に体育系のフォルケホイスコーレに留学しました。学校唯一の日本人として、ハンドボールとウェイトリフティングを学びながら過ごした刺激あふれる10ヶ月は、私の『今』に大きく生きています。

現地でぶち当たった言葉の壁や、現地で所属したハンドボールチームでの技術の壁に、当初は大学の授業や部活動で高めたものがほとんど通用しないと気分がふさぎ込む日々が続きました。しかし、「下を向くな。まずは心から楽しめ!ハンドボールを、デンマークを!」と周りから何度も力強く声をかけていただいたことがきっかけで、私は失敗を恐れ、失敗に卑屈になって生きてきた自分に気付くことができました。

この体験から前向きに楽しく物事を考えられるようになった私は、何事にも悩まず挑戦できるようになりました。結果ではなく、挑むことに価値があると分かったからです。この『とにかく挑戦』スタイルは留学生活を通して、学校では多くの友人を、ハンドボールチームでは試合の出場機会の増加とチームの昇格を私にもたらしてくれました。もちろん、なかなか実感できなかったデンマーク語の上達も。

海外留学は、語学のみならず人としても成長できる大きなチャンスです。皆さんにとってその国が、前向きで、フレンドリーで、冗談が好きで、暖かいハートの持ち主に多く出会えるデンマークであれば本当に嬉しく思います!



赤ちゃんスーツでアイススケートにも、『とにかく挑戦』!